

事前にいただいたご意見と区のお考え方

平成30年度生野区区政会議(第1回全体会)

番号	発言者	ご質問等	回答者	回答
1	室谷委員	<p>○災害、震災対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平野川、平野川分水路について、台風21号接近時(10月22日)に生野区の災害対策チームの設置とありますが、何人のチームだったのですか。</li> <li>・「今後の課題」では、「地域の皆さんと一緒に地区防災計画を考える」、「区役所の体制の再確認」とあります。台風はすでに発生していますし、いつ来るかわかりません。行政として、具体策を提示すべきだと思います。</li> <li>・生野区内、避難所である19小学校のそれぞれの調理能力(炊き出し能力何名分)を教えてください。災害時の炊き出しは大切なポイントになります。</li> </ul>	中村地域 まちづくり 課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年10月22日12時30分の大雨洪水暴風波浪警報発表に伴い大阪市危機管理室より5号動員が発令され、初動体制として生野区役所警戒本部を8名で開設しましたが、その後は、最大17名の体制としました。</li> <li>・地区防災計画は各地域の実情にあわせて自主的に作成いただくものであり、地域からの要望やご意見をいただいて、必要な支援に今後も努めてまいります。 また、区役所の体制について、平成30年度より、避難所開設時に迅速に対応できるように、区役所の近くに居住する職員を優先的に従事させるようにしています。 また、全職員に対しても、より実効性のある研修について検討しています。</li> <li>・大阪市危機管理室に確認を行いましたが、大阪市全体の地域防災計画において、避難所では、安全面及び衛生面の観点から学校の調理具を用いて炊き出しを行う想定はしていません。 ただし、地域によって他の調理具で炊き出しの検討をされているところがあります。</li> </ul>
2	室谷委員	<p>○生野区の交通課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生野区は区自らの交通手段の課題として、交通空白地域(鉄道駅から半径500m、バス停留所から半径350mを超える地域を想定)が南西部、南東部(巽・田島・生野・西生野の4つの小学校区が半分を占める)にあるとともに、路線バスも1時間に1本の路線が多いことを上げています。さらに、いくのくの高齢者率が市内2位の31.4%で「この方々に対する交通手段への支援がより一層必要になることが想定される」と述べています。 生野区は、この空白地域の65歳以上の方が4121人と報告しています。</li> <li>・地域コミュニティバス、バス路線の増便は生野区のみまちづくりの土台と考えます。交通空白地域の解消によって、高齢者の健康の維持、促進、幼児を持つお母さん達にとってもやさしい政策です。地域の活性化ももたらすと思います。</li> </ul>	中村地域 まちづくり 課長	—